

議会 だより

Vol.128

○千葉県多古町 あじさい祭り会場○



多古町あじさい祭り

彩る初夏の風物詩

Check ▶▶

- ・ 産業・民生常任委委員会視察（千葉県多古町）
- ・ 青森みちのく銀行田子支店長へのインタビュー



令和8年6月7日
あじさい祭り



今年も田子町のブースは人気



梅雨時期にもかかわらず、雨が降っておらず今年も大盛況

産業・民生常任委員会視察



東京カステラパーク



企業誘致

多古学童保育所



○多古学童保育所○

学童保育所定員

120人

令和8年6月現在利用人数

110人



千葉県多古町は当町と長年交流を深めており、今年もあじさい祭りの他に視察を行い、東京カステラパークでは、企業誘致を生かした体験型観光施設の取り組みを学びました。

また、多古第一小学校では、学校と一体的に整備された学童施設を視察し、運営について説明を受けました。

翌日はあじさいまつりを視察し、地域資源を生かした観光振興について理解を深めました。

（宮村 尚哉）

令和8年田子町議会 定例会あらまし

定例会

令和8年第2回定例会が6月5日から6月11日までの7日間の会期で開催されました。

6月5日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

6月9日の一般質問には3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

6月11日には議案の審議、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認がされました。



議案 番号	議案等の採決結果 件名と主な内容 賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 退席・・・退 議長は採決に加わらないため・・・－	議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決 結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志		山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和８年田子町議会第２回定例会												
報 告 第２号	専決処分した事件の承認について（田子町町税条例等の一部改正）	原案承認	○	○	○	○	○		○	○	○	－
報 告 第３号	専決処分した事件の承認について（田子町国民健康保険税条例の一部改正）	原案承認	○	○	○	○	○		○	○	○	－
報 告 第４号	令和７年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書について	原案承認	○	○	○	○	○		○	○	○	－
報 告 第５号	令和７年度田子町水道事業特別会計予算繰越計算書について	原案承認	○	○	○	○	○		○	○	○	－
報 告 第６号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会令和８年度事業計画並びに令和７年度事業報告及び決算について	報告	○	○	○	○	○		○	○	○	－
報 告 第７号	公益財団法人にんにくネットワーク令和８年度事業計画並びに令和７年度事業報告及び決算について	報告	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第32号	田子町水道事業給水条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第33号	田子町農業委員会委員の任命について	原案承認	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第34号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第35号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第36号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第37号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第38号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－

議案 番号	議案等の採決結果 件名と主な内容 賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 退席・・・退 議長は採決に加わらないため・・・－	議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決 結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志		山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和 8 年田子町議会第 2 回定例会												
議 案 第39号	田子町農業委員会委員の任命について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第40号	田子町農業委員会委員の任命について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第41号	田子町農業委員会委員の任命について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第42号	田子町農業委員会委員の任命について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第43号	田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第44号	田子町消防委員会委員の承認について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第45号	令和 8 年度田子町一般会計補正予算（第 1 号）について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第46号	令和 8 年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 1 号）について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第47号	令和 8 年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第 1 号）について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第48号	令和 8 年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第49号	令和 8 年度田子町水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－

定例会とは？

○定例会（議会）

町の施策、条例及び予算などを決定することを『本会議』といい、定期に一定期間だけ開かれることから『定例会』といいます。

町では、年4回（3月・6月・9月・12月）に行われています。

○臨時会

定例会の期間以外で決めなければならない事案が生じた際に、必要に応じて開かれる議会を臨時会といいます。

○委員会

本会議だけでは時間がかかり十分な議論ができないことから、本会議で決議する前に各種委員会による協議が行われ、委員会には、常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の3つがあります。

町には、『総務・文教常任委員会』『産業・民生常任委員会』『議会運営委員会』などがあり、それぞれに担当する議員が選任されています。

一般質問

6月定例会では6月9日に一般質問が行われ、3名の議員が町政について質問をしました。内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。T C Vでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。



欠端 則夫 議員

みろく館の管理と

イノシシによる水稻苗被害

みろく館の管理

Q みろく館の利用者の内訳で町民と町外の人の数はどれくらいか。

A 合計は1万8760人で町民は1万4515人、町外の方は4245人である。

Q 町外からの方の迎賓館という考え方からすれば町外の方の利用が少なすぎないか。

A 十分な数字であると思っている。

Q みろく館は町の管理ではなく、管理委託を行うと言っていたが時期はいつ頃か。

A 将来的に指定管理者となりうる団体として観光協会を考えているが、現在観光協会の事務局を町で担っている状況である為、まずは事務局長となり得る人材の確保・育成を図りながら、観光協会の自立に合わせ進めて行きたいと考えている。

Q どれぐらいの時間を見込んでいるか。

A 3年から5年ぐらいで出来るようになってもらいたいと思っている。

Q 町の迎賓館と言いながら来町しても、この場でコーヒーマグ一杯食一つもとれない。これをどう考えるか。

A 近くの店で飲食をして貰いたいと考えている。

Q せめて自販機を置いたらどうか。

A その事は検討をしてみたい。

Q これまで公民館を利用していた方は、どの程度みろく館を利用するようになったか。

A 全てを把握する事は難しいが、歴史講座や文化協会の例会等々で利用していることは認識している。

イノシシによる水稻・苗への被害

Q 育苗中の水稻・苗をイノシシが荒らした事案はどれ位あるか？

A 今年の荒らされた件数は2件で1カ所は350枚の被害、2カ所目は150枚どちらも被害後に知り合いから苗を譲り受けて田植えをした。

Q 苗不足に対して町はどの様に寄り添うべきと思うか。

A 苗不足への対応には現在の苗の育成方法が多様化し、密植苗や全肥料を施肥した物や、種の直播き等様々な時期や管理方法の違いがあり、町が関わるよりも、現状を分かっている生産者同士で融通し合う事がスムーズであると考えている。

Q 個人間も良いが、多くの情報を集められる町が情報を集め提供するのが良いのではないか。

A やはり横の繋がりによって集める事が良いのではないかと思います。

一般質問



中平 美賀子 議員

空き家対策と地域共生社会の充実

空き家対策

Q 現在、町として把握している空き家の管理状況について伺う。

A 町では、年間を通じて居住実績がなく、水道・電気の使用がない住宅などを空き家と定義し、平成24年度と令和2年度に実態調査を実施した。令和2年度調査から6年が経過したため、今年度改めて現地調査を行い、所有者への利活用意向アンケートを実施する。その結果を踏まえ、今後の空き家対策の基本方針となる「田子町空き家等対策計画」を策定したい。

Q 空き家バンク制度の現状と課題について伺う。

A 課題について購入や賃貸費用とは別に、撤去する解体費用の自己資金が多く発生することが取引を敬遠される要因となっている。

Q 解決に繋がらず原因として解体費用など自己負担が多い課題があったが、個

人や町だけでなく県や国の補助や支援制度の拡充など、どのような対策をしているのか伺う。

A 空き家アドバイザー協議会と連携を強化し、各種補助事業を活用する事で個人負担の軽減を図り、土地の流動化を推進したい。

地域共生社会について

Q 当町における「地域共生社会」の考え方、現在の取り組みについて伺う。

A 町では10年後の将来像である「ひとが育ち、支え合いながら、地域の力で未来を拓くまち」の実現を目指し、人と人、心と心の繋がりを大切にしたい町づくりを進めることとしている。

Q 子ども、高齢者、障害者、生活困窮世帯など分野を超えた包括的支援体制について伺う。

A 自治会総会で配布している「町が取り組む予定の主な事業について」で内容を掲載しているが、悩みを一人で抱

え込まずに、せせらぎの郷に一度ご相談頂きたい。

Q 町民にとって、より身近な視点から制度の狭間で複雑な課題を抱えている世帯・年代に対して、分野を超えた支援体制はどうなっているのか伺う。

A 現在、地域包括支援課では、全ての年代の方を対象に介護や健康不安子育てや生活困窮といった属性を問わない相談窓口として対応しており、相談内容によっては、関係各課や町社会福祉協議会などの関係機関と連携し、支援を進めている。

○一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。

- ・質問の時期
定例会において行われ、臨時会では許可されていません。
- ・質問の通告
質問する議員は期限までに通告書を作成します。通告書は議長の許可を得て町長部局へ配布されます。議場において通告書に記載された以外の質問をすることはできません。
- ・質問の要領
質問はあくまで質問に徹するべきで、要望やお願い、お礼の言葉を述べることは慎むべきとなっています。

一般質問



山崎 一義 議員

世紀越えトンネル実現と災害対策

世紀越えトンネルの早期着工

Q 要望に際し、国の対応と進展について伺う。

A 国土交通省では、東北整備局と青森・秋田両県による「青森・秋田間横断構想勉強会」を立ち上げ、整備効果の検証に取り組んでいる。

Q 八戸市・鹿角市等沿線自治体との連携強化について伺う。

A 今春に鹿角市等各自自治体をまわり、整備の必要性を説明し、連携強化に同意を得たので早期に話し合いの場を設ける。

Q 県知事に現地の状況を確認頂いたとのことだが、確認後の知事の感想や意見町の対応について伺う。

A 県知事からは、非常に課題がある線であり、秋田県と調整をしていくとの言葉を頂いた。町は今後も県に対し、様々な場面で要望を継続していく。

Q 「青森・秋田間横断構想勉強会」を設立したが、その後の進展と取り組みについて伺う。

A 設立後、地元でヒアリング調査を実施し、医療・物流・隣県交流について整備効果の検証を行っていく。さらに、医療圏に関する調査を行ったと報告を頂いた。

災害時における井戸水の活用

Q 水質検査を実施したと報告を受けているが、井戸水と湧き水の箇所数はいくつか。また、検査基準について伺う。

A 水質検査した箇所数は、井戸水12箇所、湧き水24箇所、計36箇所実施した。検査基準内容は、厚生労働省の飲用井戸等衛生対策要領に基づき、一般細菌等11項目を検査基準として実施し、32箇所が適合となっている。

Q 活用計画の作成内容について伺う。

A 災害時の給水車による給水活動の補完を軸とし、町内のエリア分けや状

況に応じた井戸水等の活用方法を検討し、有効な給水計画となるよう策定したいと考えている。

鳥獣被害対策

Q 緊急銃猟を想定した机上訓練が実施されたが、内容と反省点を伺う。

A クマ1頭が小屋の中に留まって動かない状況で緊急銃猟を行うことを想定し、「緊急銃猟対応マニュアル」に基づき、通報・対応への判断と、人員配置・安全確保等を町・鳥獣被害対策実施隊・三戸警察署・県等と一連の流れと役割を確認した。情報は、現場と町長や担当部署との連絡となり、関係者が同じ情報を共有出来なくなる可能性があり、情報の集約と共有機能が必要であることから、今後検討していく。

Q 今後、実施訓練が予定されているが、内容等について伺う。

A 基本的には机上訓練で想定した内容等で行い、意見や反省点を活かして実施する予定である。緊急銃猟制度は、決められたルールで実施するため、全ての捕獲に対応できる制度ではないため、皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

議員活動出席状況

地方議会議員の活動は、単に本会議（定例会・臨時会等）などの会議に出席し、議案の審議などを行うだけでなく、当該地方公共団体の事務に関し調査研究するための研修会等の活動や、住民代表として住民意思を把握するための活動等、広域的かつ多岐にわたります。

会議等の名称	派遣場所	派遣期間	派遣議員
青森県町村議会広報研修会	青森市	5月20日	尾形・宮村・菊地
正副議長研修会	青森市	5月26日	澤口・尾形
産業・民生常任委員会視察研修会	多古町	6月7日	宮村・欠端・澤口 菊地・中平
県下町村議会議員研修会	青森市	7月8日	澤口・尾形・欠端 山崎（一）・菊地
八戸圏域市町村連携中枢都市圏研修会	田子町	7月14日	澤口・尾形 椛本・山崎（美） 山崎（一）・菊地

議会を傍聴しませんか！！

田子町では3月に第1回定例会、6月に第2回定例会、9月に第3回定例会、12月に第4回定例会が行われ、随時、臨時会が開かれます。定例会は一般質問を含め、会期中は、基本的に傍聴することができます。

- ※ 開会は前月末に行われる場合があります。
- ※ T C Vでは編集して放送しています。
- ※ 会期日程については田子町役場ホームページをご覧ください。

6月定例会後の主な議員活動と予定

※ 追加、変更がある場合があります。

○7月

- ・県下町村議会議員研修会
- ・八戸圏域市町村連携中枢都市圏研修会
- ・決算審査

○8月

- ・全国町村議会広報研修会

令和8年5月20日 青森県町村議会広報研修会

今回は「見える議会と住民との関係性」との講演を聴いてまいりました。なお、広報クリニックでは、来年は当町の広報がクリニックを受けますので、しっかりと作成したいと思います。
(宮村尚哉)



令和8年5月26日 令和8年度 正副議長研修会

地方創生・人口減少社会・男女共同参画がテーマの研修会で、地域活性化センター理事長が講演しました。活性化センターには2年間の派遣研修制度があり、当町から計4名の職員を派遣しています。「地域づくりはひとづくり」の成果が見えるのは容易ではないと感じました。
(尾形憲男)

令和8年度 町村議会議長・副議長研修会



令和8年7月8日 県下町村議会議員研修会

「今後の政局・政治展望」と題した講演がありました。講演では、長期的な視点で政治・外交・経済・地方自治の話があり、特に、地方には豊かな資源や人材があり、潜在力は高く、地方議会がその力を引き出していくことの必要性について講演していました。



令和8年7月14日 第34回連携中枢都市圏の形成に係る勉強会

タプコピアンプラザホールにて、八戸市・おいらせ町・階上町・南部町・三戸町・新郷村・田子町の市町村長及び議員が集まり、圏域の共通課題についての勉強会を行いました。



profile

青森みちのく銀行

田子支店長

船場 昭寛 (写真右)

年齢 50歳

経歴

入行 26年目

令和7年7月

田子支店長 就任



欠端委員長

青森みちのく銀行
田子支店 船場支店長

□ 温かい接客と安心できる店舗づくり □

【欠】町の印象を教えてください。

【船】仙台や盛岡など県外赴任が多かったのですが、田子町は、田んぼや畑など整備が行き届いて、河川などもきれいで、管理をしっかりとする方が多い印象を持ちました。

【欠】町の魅力や町の文化についてどう思いますか。

【船】田子町に入ると「日本で最も美しい村」の看板がありますが、草木が輝いており、まさにその通りだと感じています。また、町民講座の歴史の探索や様々な講座に参加させていただけますが、このような取り組みを積極的にやっていることは素晴らしいと思っています。

【欠】町の基幹産業である農業や商業について、町の強みは何であるとお考えですか。

【船】農産物が多彩で、とにかくはもろんのこめ、米や野菜も大変おいしい物が多いので、大都市圏

でも商機はあると思います。

【欠】物価高騰や人手不足などいろいろな課題がありますが、地元事業者を支えるため、銀行としてサポート（事業承継・新規事業など）していることはありますか。

【船】昔の金融機関はご入金と融資で成り立っていましたが、今は全ての事業をサポートする方向に転換しています。本部では専門部署を設け、事業承継などの対応や、農業者が事業を継続するための取り組みを行っています。

【欠】最近では、高齢化やキャッシュレス化など時代の変化が早くなっています。安心や便利に利用できるように工夫していることはありますか。

【船】銀行業界でもITを活用して窓口は大きく変わることが想定されますが、生活は地域の人によることから、関与すべき



場面では人の手を通す必要があると思っています。その中でも、明るさや温かさを大事にすることが大切であると考えています。

【欠】最後に、議会広報紙の読者でもある町民の皆様へメッセージをお願いします。

【船】地方は人口減少や所得など暗いイメージがありますが、地域に人がいる限り生活が生まれ、仕事もあります。明るく前向きに、田子町が輝けるよう、我々も頑張っていますので、引き続きご指導をよろしくお願いいたします。

つばやき

今年も猛暑による健康被害や台風による農作物の被害が心配される季節となり、加えて熊やイノシシによる被害も身近な課題となっています。

これらの問題は町民一人ひとりだけでなく、地域や町全体で協力して対応することが重要です。一方で、若者の流出や少子化、高齢化により地域の活力が低下しています。今年度から始まる新たな総合計画を契機に、町民の皆さんと共に考え、行動する一年にしたいと思っています。

(菊地 健二)

発行・編集責任者

議長

澤口 勝

議会広報編集委員会

(128号)

委員長

欠端 則夫

副委員長

菊地 健二

委員

尾形 憲男

宮村 尚哉

山崎 一義

執筆協力

中平美賀子